

日本共産党市会議員団 第4弾緊急要望 PCR等検査の抜本的拡充を求める！！

新型コロナウイルス感染症が再び急速拡大するなか、交野市でも7月は3名でしたが、8月に入り12名（8月25日時点）の新たな感染者が確認されるなど、第一波の時期より感染拡大スピードが増している状況となっております。

現在の感染拡大を抑止するには、PCR等検査を大規模に実施し、陽性者を隔離・保護する取り組みを進める必要があります。しかし、大阪府のPCR検査数は1日2500件程度であり、これでは府下の必要数に全く足りていません。



日本共産党市会議員団は8月11日、市長あてに第4次緊急要望を行い、感染拡大を抑えるため、大阪府や国にPCR等検査の抜本的拡充を求めつつ、市としても市民の命と健康を守り抜く立場で、積極的に感染対策をすすめるよう求めました。

新型コロナウイルス対策についての緊急要望（第4次）

- ① 5月に設置していたドライブスルー方式のPCR検査センターを再開し、検査可能数を増やして、保健所を通さなくても検査が受けられる体制を確保すること。
- ② 医療・介護・福祉、保育・教育の従事者や、消防・ごみ収集等を担う職員の全員を対象に、定期的にPCR等検査を実施すること。
- ③ 学校、市職員で感染者が出た場合等の対応やマニュアル、その場合のPCR等検査の実施対象範囲などについて、事前に公表・周知すること。
- ④ 今後、学校や認定こども園等で市感染者が発生した場合、当該学校園の全ての教職員・保育士や関係職員、子どもにPCR等検査を行うこと。
- ⑤ 大阪府にたいし検査の拡大を市からも要望するとともに、交野市独自でも、条件のある全ての医療機関に協力を要請し、PCR等検査を独自に実施できる体制を確立すること。
- ⑥ 濃厚接触者を含め、自宅待機を余儀なくされる場合には、生活物資を届け、体調管理を行う体制をつくること。
- ⑦ 市内の感染状況について、市として実態を把握し、市民に正確な情報を発信するよう努めること。特に、四條畷保健所と連携し、市民のPCR等検査の実施数と陽性率等について把握し、公表すること。
- ⑧ 国の臨時交付金や市の基金を活用し、国・府の支援制度の対象外となる事業者への支援や、高齢者・乳幼児のインフルエンザ予防接種の無料化や補助（新型コロナとインフルエンザの同時感染などを防ぐため）など、市民の命・くらし・営業を守る市の支援策を強めること。
- ⑨ 学校での感染防止のため、6月に行っていた分散授業と同様に、少人数での授業を実施できる体制をとること。
- ⑩ 一中校区の小中一貫校の計画は中止し、コロナ後の学校のあり方を再検討すること。

かたの民報

2020年8月31日
NO. 1729

【発行】

日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



さらがい ふみ
星田7-44-21
☎894-2835



藤田 まり
私部西2-16-13-310
☎397-3027



北尾 まなぶ
倉治7-8-7
☎893-3163